

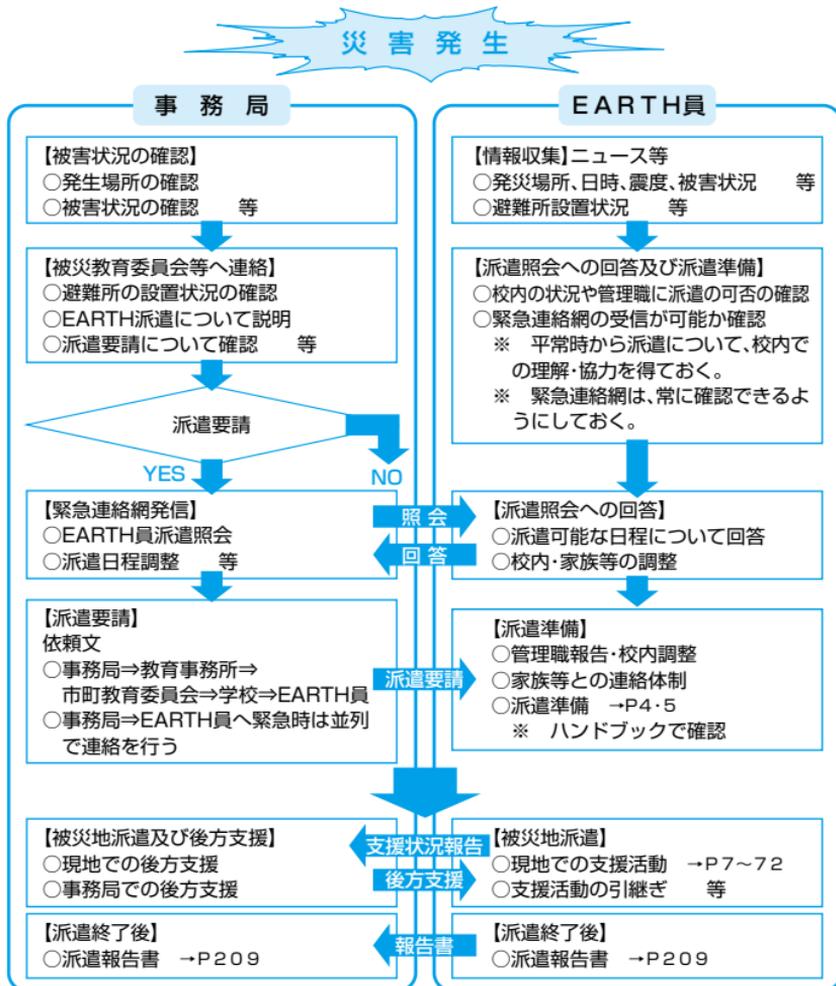
I 章

発災～派遣まで



平成 28 年熊本地震で大きな被害を受けた益城町内の様子

1 災害派遣の流れ



※ 事務局対応 →P211へ

【参考】災害発生時の被災地派遣の前に

校内における EARTH の活動への理解が必要なことから、平常時の積極的な活動を行うことが必要である。

先生方や管理職とのコミュニケーションを積極的にとりながら広報活動を行うとともに、防災教育の推進及び EARTH の活動への理解と協力できるように心がける。

【参考】震災・学校支援チーム(EARTH)の周知の必要性

先遣隊や派遣時においても EARTH に関する説明を幾度も実施している。

派遣時においても EARTH の活動の説明が必要であることから、日常や派遣準備段階においてハンドブックを読み返すとともに、あらゆることに対応できるように準備しておく。

2 派遣照会と回答

- ☆ 大規模災害発生時には、派遣要請があるものとする。
- ☆ 緊急連絡網で派遣照会があるため、緊急連絡網の確認を怠らない。
- ☆ 派遣照会があった場合には、可否を必ず事務局へ回答する。

○大規模災害発生後

- ・事務局が派遣を検討する段階で、EARTH 員に派遣の可否を照会する。
- ・EARTH 員は大規模災害が発生した場合には派遣要請があるものとする。
- ・派遣照会があった場合には、直近の業務の予定を確認するとともに授業や校務の振替を検討する。

- ※ 派遣照会は直近の1ヶ月程度の派遣の可否を尋ねることが多いので、幅広く日程調整を検討すること。
- ※ 派遣照会があった場合には、学年団等と調整が可能かを確認すると同時に、管理職の了解を得て回答を行うこと。
- ※ 今回の派遣が不可の場合であっても、次回の派遣照会を行うことが多いので、引き続き派遣要請に備えておく。

【参考】初めて派遣された EARTH 員の言葉

- ・初めての派遣で右も左も分からず、1日1日を過ごしていた。そんな中先輩 EARTH 員の学校を見る冷静な判断力と力強い行動力を見てみると、「自分でもできるのではないか」と自分自身の使命感のようなものが芽生えてくるのを感じた。
- ・はじめての派遣となったが、参加している EARTH 員の意識が高く、自分に何ができるかという想いがあり、さらに力をつけたいと思うようになった。
- ・初めての学校訪問時は緊張したが、ペアの先生のリードが非常に頼もしく、自信をもって活動できた。

平成 28 年熊本地震に派遣された EARTH 員の報告書より

3 派遣メンバーに選ばれた時

- ☆ 授業の振替等、管理職をはじめ職場の調整をする。
- ☆ 出発直前まで正確な情報収集に努める。
- ☆ 準備物は災害派遣の場所、季節、災害発生後の経過日数、災害の種類等によって適宜考慮する。

○出発前準備

災害発生後の現地は大きく混乱しており、情報は錯綜し、生活の基盤（道路・鉄道・上下水道・送電網・港湾・ダム・通信施設など）も壊滅的であることを想定し、現地では各種物品も入手できないと考えておくこと。

- ・管理職を含め、職場との打ち合せを行う。
- ・情報の収集（災害状況の確認等）
- ・派遣現地の地理を把握する。
- ・派遣に際して必要な物品を確認し、準備する。

○事務局が被災地に行く前に収集し提供する情報、資料

<現地に関すること>

- ・道路地図、地形図、現地ガイドブック
- ・鉄道ダイヤ、道路交通情報
- ・現地の教委、学校や児童生徒情報

<災害に関すること>

- ・現地災害対策本部発表資料
- ・新聞報道
- ・先遣隊等からの情報

※ 出発までの時間が限られているので、できる範囲で情報を収集する意識を持つことが大切。また、状況は刻一刻と変化しているので、その場の状況に応じてチームで判断しなければならない。

4 災害派遣時の準備物チェックリスト

1 EARTH 員として持っていくべきもの

- EARTH 帽子
- EARTH ベスト
- EARTH 員証
- 共済組合員証(保険証)
- EARTH ハンドブック

2 生活・活動するために必要なもの

- 長袖シャツ・長ズボン
- 着替え
- 靴下
- タオル
- 携帯電話(充電器)
- 救急用品・医療品
- ビニール袋
- カップ(上下別)
- 非常食(α化米、シリアル等)
- 水(ペットボトル)

3 あると便利なもの

- 防寒コート
- マスク
- 懐中電灯
- 上靴
- 箋挟(クリップボード)
- 付箋(7cm×7cm程度のももの)
- 使い捨てカイロ
- カセットコンロ
- 名刺
- デジタルカメラ

4 状況に応じて必要な物

- 軍手
- 寝袋
- 予備電池
- トイレットペーパー
- 小型ラジオ(手回し発電式)
- タブレットパソコン
- ポンチョ
- 安全靴
- ウエストポーチ
- バンダナ
- 調理用使い捨て手袋
- 無線ルーター(Wi-Fiルーター)
- ラップフィルム
- 食器(コップ)
- ホイッスル
- 耳栓
- アイマスク
- USB フラッシュメモリー
- 予備バッテリー(USB 機能付)
- プレゼン資料(講師対応用)

5 事務局が持って行く物

- 活動のしおり
- EARTH ハンドブック(提供用)
- その他提供する資料(学校防災マニュアル、「明日に生きる」等)
- 現地地図
- パソコン(タブレットパソコン) 等

※ スマートフォンがあれば活動しやすい

5 被災地での各班の活動一覧

- ☆ 災害時は班の枠を越えた活動が求められることから、災害の種類、支援場所、要請の内容等に応じて臨機応変に対応する。
- ☆ 被災地の災害対策本部や学校の指示に従ってチームで行動する。
- ☆ 活動の内容は EARTH 事務局に報告する。 → P209 へ
- ☆ 研究・企画班は、他の班の支援にあたる。
- ☆ 活動後にはセルフケアを行う。 → P56 へ

状況	学校教育	心のケア	避難所運営	食事
災害の発生		派遣要請・派遣の決定		
学校災害対策本部の設置	支援活動の開始			
	具体的な支援活動の内容			
避難所開設	○学校の早期再開までの流れ P36	○災害による心身の変化と対応 P46 ○基本的な対応 P63 ○発達段階に応じた心のケア P64	○避難所開設から運営へ P14 ○避難者の受け入れ P15 ○災害時要援護者への対応 P18 ○避難者数の把握と報告 P17 ○自治組織づくり P20	○非常時における食事 P30 ○食料及び飲料水の確保・提供と炊き出し支援 P31 ○食事に配慮を要する人への対応 P33
	○応急教育に向けた流れ P38	○教師ならではの心のケア P66	○生活秩序の管理と苦情等への対応 P21 ○救援物資等の受け入れと配布 P25	○学校給食再開に向けて P61
	○施設・設備の被害状況調査 P40 ○災害情報の収集と発信 P42	○教職員への心のケア・サポート P52	○ボランティアの受け入れ方 P26 ○避難者への問い合わせや情報提供 P23	○活動内容チェックリスト P34
	○校区の被害状況調査 P41 ○災害発生後の事務手続き P71	○活動内容チェックリスト P55	○活動内容チェックリスト P28	
学校再開	応急教育の実施	子ども・教職員の心のケアの共通理解	避難所運営組織確立	簡易給食の開始
	支援活動の終了			